

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 ハレル家～晴れの舞台、晴れの住まい～

グループの名称 甲斐縁隊

直近採択グループ番号 06-0432-0369

(グループ代表者)

代表者名 芦澤 正仁 代表者印
代表者所属先 有限会社楽建舎
代表者所在地 山梨県甲斐市篠原3090-8
代表者電話番号 055-279-1133

(グループ事務局)

事務局事業者名 中央ベニヤ株式会社
事務局担当者名 早川 勝 印
事務局郵便番号 400-0858
事務局所在地 山梨県甲府市相生1丁目16-15
事務局電話番号 055-222-8821
事務局FAX 055-228-9540
事務局担当者E-mail m.haya@chuvени.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		50	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	50	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		1棟				
		156㎡	その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0棟				
		0棟			0㎡				
		0㎡			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	長期優良住宅や認定低炭素、ゼロエネルギー住宅、性能向上計画認定住宅、優良建築物の建築経験のない工務店を優先し契約確実な工務店を原則一棟以上配布する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ハれる家～晴れの舞台、晴れの住まい～	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県・長野県・東京都・神奈川県・静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 甲斐縁隊	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0432-0369	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	●寒暖の差が激しい為、断熱性を重視し、断熱等性能等級4以上とする。 ●東海地震、東南海地震に備える為にも、耐震性を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	●屋根に遮熱材を必ず使用する。(非住宅は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	●太陽光発電パネルをより多く搭載できる様な屋根形状を考えた家づくりを行う。(非住宅は除く) ●甲府盆地を囲む雄大な山々の景観に配慮したデザイン・カラーとする。	○
④①～③の背景	① 典型的な盆地気候で夏と冬、日中と夜間の気温差が大きい。冬の「ハケ岳おろし」が強く吹き付ける。 ② 年間降水量が少なく、日照時間が長い ③ 都心から近く、観光資源に恵まれている。富士山の世界遺産登録が追い風になっている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本事業を機に環境配慮を意識するためにも、CASBEEの理解を深め、自己評価シートによる研修を行う。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 調査を行った資料をいかし、会としての推奨標準仕様を作成する。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 調査を行った資料をいかし、会としての推奨標準仕様を作成する。	○
②-1 建材・資材調達共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 上記の省エネ機器について、グループでの共同購買方式とし、メーカーを機器ごとに1社に絞り込んで推奨する、グループ宛の見積書を取得しコストを削減を模索する。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と流通又は、木材を扱わない流通業者と協力し合理化を図っている	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 役員会を年6回開催	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・省エネ機器等の新商品情報や、税制・施策制度情報を取得し、生産合理化委員会を始め各委員会に伝達する。 ・各委員会の執行状況を把握し活動状況を総会で報告する。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 現在、施工基準が無いため、フラット35の施工基準を活用する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 交付申請の前に設計内容をチェックをする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 見積書に於いては、木材の表現方法として材料一覧を添付する。建材・機器についてはメーカー名や定価表記を行う。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ホームページを作成し、メンバーの見学会・イベントなどの情報を発信する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会を行う。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 建設キャリアアップシステムの勉強会を行う。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会を行う。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ主催により、寒暖差が健康に与える影響について、消費者向け講習会を行う。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ハルる家～晴れの舞台、晴れの住まい～	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県・長野県・東京都・神奈川県・静岡県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 甲斐縁隊	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0432-0369		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報のメンテ整備基準		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報機関『いえかるて』を利用する。(非住宅は除く)	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報機関『いえかるて』正会員である第三者機関	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 申込み用紙の複写を添付	◎
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報機関『いえかるて』又は長期優良住宅に定めた点検工程を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえかるての点検状況を確認 年一回	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会や現場見学会などを企画し、OB顧客との接点を強化する。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会や現場見学会などを企画し、OB顧客との接点を強化する。	○
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会や現場見学会などを企画し、OB顧客との接点を強化する。	○	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、住宅の長寿命化に向けた研修会を年間1回行う。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に相談窓口を設置し、倒産廃業時の消費者問合せ先とする。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年4回の全体委員会の内、最低1回以上は行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	構成員メンバーが有効的にメンテナンスが行えるよう積極的に勉強会を行いさらなるレベルアップをはかる。		○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 総会とは別に未経験工務店向けに勉強会(長期・低炭素、性能向上・ゼロエネ)を年1回行って	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 交付申請の前に設計内容をチェックをする。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築確認申請書又は各申請書等のチェックをする。	○
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: BELSの取得を推奨する。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月の役員会で検討する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 10	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 10	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 参加対象者リストを作成し事務局より日程等の情報が入りしだいメールにて情報発信し周知する。当会でも、協議会と連携し年1回開催する。	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	昨年度は役員会を年6回開催し全体委員会を年3回開催しました。今期も昨年同様に新築住宅の建築及び維持管理や既存住宅への対応能力向上に努め、良質な住宅を提供出る工務店グループに努める。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ハれる家～晴れの舞台、晴れの住まい～	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県・長野県・東京都・神奈川県・静岡県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 甲斐縁隊	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0432-0369		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	地域材利用に関する		
①	共通 ルール(必須)	●柱(縦枿、上下枿) スギ、桧、唐松、SPF、欧州赤松、欧州トウヒ ●梁(床根太、端根太) スギ、桧、唐松、SPF、米松、欧州赤松 ●桁(頭つなぎ) スギ、桧、唐松、SPF、米松、欧州赤松 ●土台 桧、SPF、唐松、米松、米ヒバ	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枿材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	○
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成24年度より月一回メールにて情報発信を行っております。木材の市況情報も入手次第発信しております。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 平成24年度より月一回メールにて情報発信を行っております。木材の市況情報も入手次第発信しております。	○
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 山梨県の行事や勉強会の参加をはかる。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 『いえかるて』を推奨し、より充実したメンテナンスを模索する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材の合法性を確認する目的で、主要構造材の『納品書』の添付と『木拾い表』の添付をする。	○
カ. その他			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組	要請がありたい対応できるよう連絡網を作成し連携作りを行う。	○	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	要請がありたい対応できるよう連絡網を作成し連携作りを行う。	○	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ハれる家～晴れの舞台、晴れの住まい～	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県・長野県・東京都・神奈川県・静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 甲斐縁隊	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0432-0369	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型の特徴】

●認定低炭素住宅

一次エネルギー消費量のマイナス10% 8項目の内2項目達成

●ゼロエネルギー住宅

・5地区一次エネルギー消費量RO 24.8%削減 ・4地区一次エネルギー消費量RO 21.6% ・3地区一次エネルギー消費量RO 20.7%とした。
 当グループの省エネ地域区分は3～5地区あり気候条件も大きく異なる。特に一番条件の厳しい3地区においては他の地区よりもRO値を考慮した。

●優良建築物

人口が密集する都市部から離れた地域では、より少子化や高齢化率も高くなっている。
 (平成24年総人口 869,032人 65歳以上人口214,765人(24%))
 我らの地域型住宅グリーン化事業に取り組むグループでは、地域とより密着・連携を目指したグループ作り
 取り組んでおり、低炭素社会を実現するために住宅以外においても良質な木造建築物の供給に取り組んでいく。
 1) 地域に根ざした医療・福祉体制への応援や協力
 2) 子育て世代への生活基盤となる良質な木造建築物への提案
 など、地域で安心・安全・快適に生活頂ける為に、高齢者・障害者の医療福祉施設や子育て世代への
 共同住宅等の良質な木造建築物の提案を行い、地域活性化の一助を図る。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。